

我が校の学ぶ力向上策

甲賀市立小原小学校

本校の現状と課題

- 視点1 学習のねらいにせまるまとめ・ふりかえり、基礎的・基本的な知識・技能の定着につなげる「主体的・対話的で深い学び」への授業改善が課題である。
- 視点2 規則を守りよりよく生活しようとする子どもが多い一方で、自分で課題に気づき、考え、行動する力を発揮する場面があまり設定できていない。
- 視点3 個々の取組について、成果と課題を次につなぐ検証・改善が十分でなく、学校組織全体への成果につながりにくかった。

学力向上のための継続した取組と改善してきた点

- こうか授業術五箇条に則った主体的・対話的な学びの中で、まとめとふりかえりを工夫し、「できた」「わかった」が実感できる授業づくりに努めた。
- 家庭との連携で、家庭学習の充実を図った。

<学校目標>

「読み解く力」の育成に焦点を当てた、「できた」「わかった」が実感できる授業づくりを通して、子ども一人ひとりの「学びに向かう力」を育む

□基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る指導の充実

- 文章や情報、相手の考えや意図を読み解き理解する活動に焦点を当てた授業づくりに努める。
- 導入で目的意識をしっかりと持ち「読み解く力」Aのプロセスに迫り、相手意識を持って交流していく姿を追って、「読み解く力」Bのプロセスに迫るなど、「読み解く力」に焦点を当て、主体的・対話的で深い学びを通して「できた」「わかった」が実感できる授業づくりを進める。
- 評価問題を活用して、一人ひとりの学びの状況を的確に把握し、間違いや理解不足のあることについて丁寧に個別支援をする。

□自己決定の場を大切にしたい授業づくりと特別活動

- 学習や生活の中で、子どもが課題をとらえ、自分で考えられる場を保障する。
- 「校内人権の日」や学級活動等を通じて、違いを認め合い、互いの思いを聴き合う学級づくりに努める。

□学校全体で組織的に実践する取組の推進

- 毎月の学び部会で取組の進捗状況を確認する。
- 毎学期の自己評価、児童のふりかえりアンケート、学校評価で取組の評価・改善を行う。
- OJTを活用して積極的・継続的に研修を実施する。
- 学習の習慣化、長期休業中の学習教室など、家庭や地域と連携した取組で学びに向かう力を支える。

策定の時期と今後の改定予定

- 1学期：・全国学力・学習状況調査の結果を自校分析し、1学期以降の取組の重点化を図る。
 - ・授業のユニバーサルデザイン化の重点化と検証をする時間を確保する。
- 2学期：・「学びの基礎チャレンジ」4～6年のテストの結果で取組について検証する。
 - ・主体的・対話的な授業への改善を目指した授業研究を推進する。